

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 8 月 19 日 (2021.8.19)

【公表番号】特表 2021-504447 (P2021-504447A)

【公表日】令和 3 年 2 月 15 日 (2021.2.15)

【年通号数】公開・登録公報 2021-007

【出願番号】特願 2020-545066 (P2020-545066)

【国際特許分類】

C 0 7 C 211/63 (2006.01)

C 0 9 J 133/04 (2006.01)

C 0 9 J 7/38 (2018.01)

C 0 7 C 215/40 (2006.01)

C 0 7 C 217/08 (2006.01)

C 3 0 B 29/54 (2006.01)

C 3 0 B 7/06 (2006.01)

B 3 2 B 27/18 (2006.01)

B 3 2 B 7/06 (2019.01)

C 0 9 J 7/30 (2018.01)

C 0 9 J 7/20 (2018.01)

B 3 2 B 7/025 (2019.01)

【F I】

C 0 7 C 211/63 C S P

C 0 9 J 133/04

C 0 9 J 7/38

C 0 7 C 215/40

C 0 7 C 217/08

C 3 0 B 29/54

C 3 0 B 7/06

B 3 2 B 27/18 Z

B 3 2 B 7/06

C 0 9 J 7/30

C 0 9 J 7/20

B 3 2 B 7/025

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 3 年 7 月 7 日 (2021.7.7)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

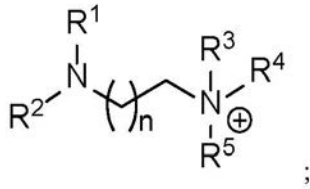
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記式のカチオン性アンモニウム化合物：

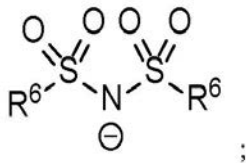
【化 1】



R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 、および、 R^5 は、独立して、H、任意に置換された C_{1-2} アルキル、任意に置換された C_{1-2} アルキル-OH、または、任意に置換された C_{1-2} アルキル-O- C_{1-2} アルキル（ここで、 n は、1または2）；および、

下記式のスルホンイミドアニオン：

【化 2】



R^6 は、-Fまたは C_{1-3} フルオロヒドロカルビルである、
を含む、塩基性イオン液体、ならびに、

ポリマーを含み、前記ポリマーは、アクリレートポリマー、メタクリレートポリマー、または、アクリレートポリマーとメタクリレートポリマーの両方の組み合わせを含む、
接着剤組成物。

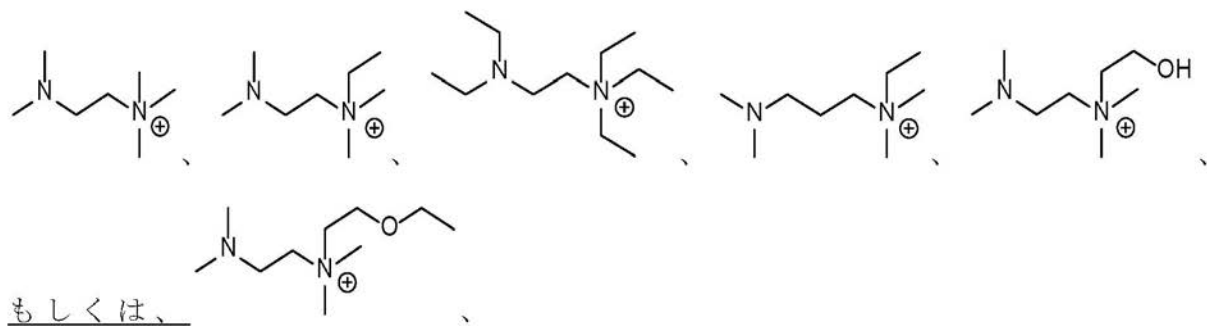
【請求項 2】

R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 、および、 R^5 は、独立してH、-CH₃、-CH₂CH₃、-CH₂OCH₃、-CH₂CH₂OCH₃、-CH₂OCH₂CH₃、-CH₂CH₂OCH₂CH₃、-CH₂OH、または、-CH₂CH₂OHである、請求項 1 に記載の 接着剤組成物。

【請求項 3】

カチオン性アンモニウム化合物は：

【化 3】



または、それらの組み合わせである、請求項 1 または 2 に記載の 接着剤組成物。

【請求項 4】

R^6 は、Fである、請求項 1、2、または、3 に記載の 接着剤組成物。

【請求項 5】

前記ポリマーは、アクリル酸、 C_{1-14} ヒドロカルビルアクリレート、または、 C_{1-14} ヒドロカルビルメタクリレートモノマーを含む、請求項 1、2、3、または 4 に記載の 接着剤組成物。

【請求項 6】

前記ポリマーは、N，N，N'，N'-テトラグリシジル- m -キシレンジアミンで架

橋されている、請求項 1、2、3、4、または5 に記載の接着剤組成物。

【請求項7】

1) 第1の導電性表面、2) 第2の導電性表面、および、3) 第1の導電性表面と第2の導電性表面との間に配置された、請求項 1、2、3、4、5、または6 に記載の接着剤組成物を含む、構造。

【請求項8】

前記第1の導電性表面および前記第2の導電性表面のうちの少なくとも一方がDC電源と電氣的に連通し、閉鎖可能な電気回路を生成する電源をさらに含み、前記DC電源が、約3ボルト～約100ボルトである、請求項 7 に記載の構造。

【請求項9】

前記第1の導電性表面または前記第2の導電性表面は、導電性金属、混合金属、合金、金属酸化物、混合金属酸化物、プラスチック、炭素質材料、複合金属、または、導電性ポリマーを含む、請求項 8 に記載の構造。

【請求項10】

前記導電性金属は、アルミニウムを含む、請求項 9 に記載の構造。

【請求項11】

前記導電性表面への起電力の印加が、前記接着剤組成物の接着を減少させる、請求項 8、9、または10 に記載の構造。

【請求項12】

第1の導電性表面が第1の導電層の表面であり、第2の導電性表面が第2の導電層の表面であり、第1の導電層、および、第2の導電層が約20nm～約200nmの厚さである、請求項 8、9、または10 に記載の構造。

【請求項13】

前記導電層は、基板上に配置され、前記基板は、木材、ボール紙、ガラス繊維、または、非導電性プラスチックを含む、請求項 8、9、または10 に記載の構造。

【請求項14】

前記接着剤組成物は、前記第1の導電性表面、または、前記第2の導電性表面に対して、低減された腐食効果を有する、請求項 8、9、または10 に記載の構造。

【請求項15】

前記低減された腐食効果が、約15分～約300時間の期間にわたる高湿度および高温の条件下で観察可能である、請求項 14 に記載の構造。

【請求項16】

接着剤層に形成された、請求項 6 に記載の接着剤組成物；および、
接着剤層の少なくとも1つの側面上の少なくとも1つの剥離ライナー、
を含む、接着部材。

【請求項17】

前記接着剤層の各側に剥離ライナーを含む、請求項 16 に記載の接着部材。

【請求項18】

接着剤組成物を第1の導電性基材に塗布するステップと、
接着剤組成物が第1の導電性基材と第2の導電性基材との間にあるように接着剤組成物を第2の導電性基材に塗布するステップ、
とを含む、請求項 6 に記載の接着剤組成物を基材に接着する方法。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0104

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0104】

動的試験では、剥離または剥離が始まってから数秒後に電圧を印加し、力計からの時間と剥離強度の読みをデータ収集システム (Mark-10 MEASURE gauge Pl

u s) で記録した。図 4 は、化合物 C 3 を 5 重量 % の濃度でドーブした接着材料に 1 0 V D C を適用した場合の 1 8 0 ° 剥離強度の経時変化を示す。